



- ◆年頭にあたって
- ◆地域農業推進大会 開催
- ◆「高松紋平柿」渋抜き体験
- ◆まなたび友の会 開催



「ほくの里」

支店フリーダイヤル

内灘支店 ☎ 0120-968-971
津幡支店 ☎ 0120-968-972
津幡東支店 ☎ 0120-968-973
宇ノ気支店 ☎ 0120-968-974
高松支店 ☎ 0120-968-975

「みんなのよい食プロジェクト」を推進しています。



発行/石川かほく農業協同組合
編集/リバノス編集局

石川県河北郡津幡町字清水子329番地
〒929-0326 TEL. 076-288-3331

月刊：毎月10日発行
印刷：宮下印刷株式会社

<http://www.kahoku.is-ja.jp/>



JA石川かほく 発行



年頭に当たって

代表理事組合長

西川 一郎

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には夢と希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

組合員、利用者の皆様方には当JA石川かほくに對し口頃からご理解、ご利用を賜り御礼を申し上げます。本年も旧年に倍してご高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中が未曾有の危機に直面いたしました。国内においては、二月から急速に拡大し、四月には、政府・石川県の緊急事態宣言が発出されるなど、感染防止策の徹底、企業活動や働き方など新しい生活様式への取り組みが重要となりました。当JAにおいても二月の県下感染者確認を契機にBCP（事業継続計画）の再構築に取り組みしました。感染拡大状況を把握しながら、イベント・会議・研修の中止、店舗閉鎖や営業時間の短縮、渉外活動の自粛、職員分散による業務対応など、感染拡大防止に向け取り組んでまいりました。

今後とも、組合員・利用者、従業員の健康を第一に、新しい生活様式での事業継続を行ってまいります。皆様には、たいへんご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

☆農業・農政をめぐる情勢

生産基盤の維持、担い手不足・農業労働力の確保、鳥獣被害の拡大、高温や豪雨等にともなう自然災害、また、コロナ禍において、幅広い品目での消費減退や価格低迷など、農業生産・消費構造は、変革しています。とりわけ、担い手の問題では、農業従事者の高齢化に伴う離農や後継者不足が加速し、個人経営体も減少傾向となっている中、会社形態の法人が増加するなど、農業経営体の法人化や規模拡大が進んでいます。

一方、農政では、農産物の消費減・米の業務需要の低迷が大きな課題となっている中、需要拡大に向けた支援策の拡大や需給安定に向けた支援策が検討されています。しかしながら、二〇二一年産の主食用米の需要に見合った生産量は六百九十三万

トン。昨年と比べて三十六万トン、面積換算で六万七千ヘクタールの減産が必要と示されました。

転作拡大に向けては、輸出用米等の新規需要米、麦・大豆、野菜など高収益作物に取り組む農家への支援策や低コスト生産技術導入などを条件とした助成が予定されています。

なお、当JA管内における生産調整は、今後県・市町の協力のもと、検討を重ね配分面積確定次第、生産者の皆様へのご相談とともにご理解をいただきたく存じます。

これら、混迷する農業情勢の回復について、JAグループは引き続き、政府に対し、コロナ対策や農畜産物需要回復の対策等の支援を要望してまいります。

☆令和二年度の管内農業概況

青果物では、小松菜、ほうれん草、カボチャ、スイカなどの野菜は家庭消費の増加に品薄が重なり高値基調の中、順調な出荷となりました。柿やブドウの果実においても家庭内消費がけん引し、全体相場は堅調に推移しました。このような中、高松紋平柿では出荷量も七十五トンと計画を大きく上回り、また前年新たに設定した「プレミアム」規格が初セリで十万円を記録するなどブランド価値の向上への取り組みも積極的に行われました。畜産物については、コロナ禍の学校臨時休校により、生乳

が出遅れたものの回復傾向となりました。稲作では、田植え以降気温が高く推移し、七月の出穂期は日照時間が少なかったことから、出穂にバラツキが見られました。登熟期は梅雨明けが八月一日と平年に比べ、八日程度遅く、低温・寡照で経過したことから、成熟期がやや遅くなりました。刈り取りはゆめみづほは平年並み、コシヒカリは平年より二三日程度遅く、ひやくまん穀は前年より三日程度早くなりました。一等米比率では、八十七・八%と前年の八十一・八%を上回る結果となりました。集荷実績は前年比百二・二%の九万八千七百四十八俵となりました。

◇ほくの里ライスセンター

当JAの基幹作物である水稲については、従来、津幡カントリーエレベーター、内灘、中条、西部、宇ノ氣ライスセンターの計五カ所で組合員皆様の大切に育てたお米を乾燥調製してまいりました。しかしながら、「老朽化等により稼働維持が困難な状況」であったことや「品質向上、安心・安全に対応」した施設、「乾燥調製コストの圧縮」、「小ロット・多品種に対応」した施設など生産者のニーズを踏まえるとともに、管内組合員の農業経営の将来像を深く考え、共同乾燥調製施設の再編として「ほくの里ライスセンター」を建設し、八月より稼働を開始いたしました。

「ほくの里ライスセンター」は、より自然に近い乾燥を行うための除湿乾燥方式、近年の消費者ニーズの多様化に対応するため、小ロットの受入ができるラック乾燥方式、麦や飼料用米を効率的に乾燥する遠赤外線乾燥機を備え、生産者の皆様が精魂込めた美味しいお米をこれまで以上に高品質に乾燥調製いたします。

稼働初年度の荷受実績は、十二品種、二千二百七トンの実績となりました。また、乾燥調製いたしましたお米の一部は、施設内設置の衛生管理を徹底した最新の精米設備により製品化し、管内消費者の皆様美味しくいかほく米を、さらに美味しくお届けいたします。

☆次代へつなぐ持続可能な地域農業づくり

農水省は、昨年五月の規制改革推進会議の「農林ワーキング・グループ」において、「JAグループの自己改革は進展」と評価したうえで、課題を「農業者の所得向上に向けた取り組みの継続・強化」、「農協経営の持続性の確保」とし、更なる改革を強化する構えであり、これを踏まえJAグループでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて一層の取り組みを強化しているところです。

当JAにおきましても、第二次地域農業振興計画や昨年六月の第二十

六回通常総代会にてご承認いただきました第八次中期三カ年計画の実践において、JA自己改革に取り組んでいます。「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」については、かほく米トータルコスト低減運動など引き続き低コスト農業の普及拡大を進めたいと考えています。これらの将来的・持続的な実現については、担い手確保が問題であり、地域農業の生産構造の改善が急務となっています。当JAといたしましても、集落営農の組織化と法人化を進めているところです。現在、JA石川かほく集落営農組織連絡協議会は三十七組織となり、二十三の組織が法人化されています。

また、高松ぶどう生産組合では、栽培百周年を機に新規就農の若手十八名に対し、定期的に勉強会を開き、次世代への生産技術や事業承継など次の百年に向けた取り組みが開始されました。当JAでは、昨年四月より「無料職業紹介所」を開所いたしました。働き手がほしい農業者と働きたい人とのマッチングにより、労働力の確保に取り組んでいます。現在二十五名がマッチングされました。さらに、(株)JAアグリサポートかほくと連携し、新規就農者の募集を開始いたしました。将来の地域の核となる担い手を育成するため、就農希望者を(株)JAアグリサポートかほくの研修生として受け入れ、営農定着

支援まで一貫した支援を行います。

☆持続可能な

J A 経営基盤の確立

これら自己改革を支えるJA経営基盤の確立についても、今後の取り組みの強化が求められています。将来にわたり持続可能な経営基盤の確立・強化を図るため、経済事業の収支改善及び経済事業運営方式の見直しをはじめ、経営課題の洗い出しと

明確化を図り、経営基盤強化策の検討を行ってまいります。

いずれにしても、厳しい農業環境の中、JA自己改革に邁進してまいりますので、組合員の皆様には今後ともご理解とご協力を賜りますとともに、組合員、並びにご家族の一層のご多幸を祈念し、年頭の挨拶いたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は組合員・利用者の皆様には格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も相変わらず倍旧のご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

代表理事専務	村井 一宏	理 事	井田 宏子
常務理事	田中 光博	理 事	田端いずみ
理 事	吉田 秀夫	理 事	倉知 清志
	森田 恵子	理 事	大澤 朗正
	安下 正之	理 事	大田 建
	寺井 浩幸	理 事	瀧川 圭太
	丹羽 講平	代表監事	中村 壽
	米田 悦子	常勤監事	山下 充晃
	谷口 孝三	監 事	今本 重蔵
	荒木 恵子	監 事	瀧川 嘉孝
	長田 順一	監 事	長 和義
	山崎 武志	監 事	

ほくほく ニュース

持続可能な農業の実現のため 地域農業推進大会開催

令和二年度第一回J A石川かほく地域農業推進大会が十一月二十五日、津幡町文化会館シグナスにて開催されました。認定農業者をはじめ、集落営農組織など関係者約二百二十名が参加。西川一郎代表理事組合長は「大会で得た情報やノウハウを基に、今後の農業経営の発展、また地域農業のリーダーとして活躍されることを祈念する」と挨拶しました。

大会では、県央農林総合事務所職員が令和二年度水稲・園芸・果樹の生育概況について説明。当J Aは「ゼロから出発！白ねぎ百トン産地を目指して」をテーマに、持続可能な産地づくりを目的とした新しい取組みを提案しました。人材育成と地域生産振興体制の強化を図り、令和十年度までに白ねぎ百トンの産地育成を目指します。また石川県立大学生産科学科の塚口直史准教授は、「ドローンで稲

の生育診断」と題し、先端技術の導入によるスマート農業の将来像について講演しました。

最後に当J Aが進めている第二次地域農業振興計画の三つの基本方針（①世代交代に対応できる担い手づくり②需要に応じた農産物生産による産地づくり③地域活性化による持続可能なむらづくり）に基づき、令和三年度の農業生産支援の強化を図ることを提示し、持続可能な農業の実現に向けてさらに動き出しました。



園芸産地の新しい取組みについて説明する当J A職員

冬採り栽培で新タマネギを収穫

河北潟生産出荷組合施設園芸部の北本安信さんは、津幡町湖東にある圃場（七アール）で、県内で初となるタマネギのセット栽培に取り組みました。

セット栽培は、タマネギの休眠を利用して冬の寒い時期に新タマネギが収穫できる栽培方法です。三月中旬に種をまき、育苗となるセット球を自ら作り、九月上旬には十度以下で冷温処理された約一万三千個のセット球が定植されました。

長雨の影響で白色疫病が一部みられたものの生育は順調。十二月一日には試し掘りが行われ、九日の収穫作業では葉が倒れたものを選びながら直径十センチ以上の大きさまで育った新タマネギが一つ一つ丁寧に手で掘り上げられました。

北本さんは「新しい栽培方法によって、この時期にしか味わえない新タマネギを作る事ができた。今後、遊休農地を活用して収量を増やすとともに、将来的に

ブランド化に繋がれば嬉しい」と話しました。

新鮮で柔らかくサラダなどの生食で味わうことができる新タマネギは端境期に収穫するため高価格での販売が期待できます。一月下旬までに約二トンを県内の市場を中心に出荷し、県内のスーパーや生産者直売所「そくさいかん」などで販売される予定です。



新タマネギを収穫する北本さん

「高松紋平柿」渋抜き体験

高松紋平柿生産組合は十一月十一日、当JA高松集出荷場でかほく市内六校の小学三年生約三百人を対象に、同市特産「高松紋平柿」の渋抜き体験を行いました。

当JA職員の櫻井和幸さんが「高松紋平柿」の由来や渋柿が甘くなる方法などを説明。昨年市場デビューした「高松紋平柿プレミアム」が初競りで一箱（六個）に十数万円の値が付いた話では児童から驚きの声が上がっていました。当初は、収穫体験を予定してい



選果・出荷作業を見学する児童



箱に「高松紋平柿」を並べる児童

ましたが、早朝の雨の影響により中止となったため、同施設の脱渋設備や選果・箱詰め作業を見学。

また、「高松紋平柿」を甘くするための渋抜き体験では、生産者指導の下、発砲スチロールの箱に「高松紋平柿」を一つ一つ並べていきました。箱一杯になると新聞紙と脱渋用のアルコールを染み込ませた脱脂綿を載せて密封。果実の渋が抜けるまでの約一週間、それぞれの学校に持ち帰り、開封を心待ちにしていました。

稲刈り体験で収穫したお米「大海っ子米」

かほく市大海小学校は十一月二日、同校オリジナル米「大海っ子米」の袋詰め作業を行いました。

「大海っ子米」は五年生二十名が八月下旬に稲刈り体験で収穫した「ゆめみづほ」。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年も収穫した新米を多くの人に届けたいという思いから、新しい取り組みとして行われました。

ラベル作りでは児童がメッセージカードに「大海っ子米」の説明や、自分の名前を書き、マジックで色づけ。飾りつけに稲穂やお米のイラストなど心を込めて書き込んでいきました。

また、お米を袋に詰める作業では、約四十キロのお米を計量カップで二合分を計りながら一つ一つ慎重に袋詰めしていました。

今回、百二十袋作られた「大海っ子米」は全校生徒に配られ、十二月中旬に、お世話になっている地域の人にプレゼントする予定です。



「大海っ子米」を計量カップで計る児童



メッセージカードに書き込む児童

「高松ぶどう」 剪定講習会

高松ぶどう生産組合は十一月十一日、かほく市高松の山森ぶどう園の圃場で、「高松ぶどう」の剪定講習会を行い、生産者や関係者約二十五人が、樹勢を整える剪定の仕方を学びました。

剪定は、翌年に伸びる枝を見込みながら行うため、次年度の生育を左右する重要な作業であり、経験とセンスが必要となります。同組合の架谷平治さんが講師を



ぶどう樹にハサミを入れる架谷平治さん

務め、実際にぶどう樹にハサミを入れ実演。今回、「高松ぶどう若手の会」のメンバーも参加しており、次世代へつなぐための熟練した剪定技術を教わりました。

みそ造り学習 大豆の脱穀作業

かほく市大海小学校三年生十七名は十一月十三日、同市瀬戸町にある高崎武義さんの畑で、七月に土寄せした大豆「エンレイ」の脱穀作業を行いました。

高崎さんの説明後、脱穀作業に取り掛かると、児童らは事前に刈り取った大豆の茎を束にして腕いっぱい抱えながら脱穀機まで運びました。

脱穀後は、畑に落ちている大豆



大豆の茎を運ぶ児童

を収穫。児童は、豆の数や大きさと競い合うなど楽しみながら、大切に育ててきた大豆を拾い集めていました。

今後は自然乾燥させ、十二月に選別作業を行い来年一月下旬にみその仕込み作業を行います。

集落営農組織連絡協議会

当JA集落営農組織連絡協議会は十一月十三日、津幡町文化会館シグナスで、農作業リスク管理研修会を開催しました。管内十七営農組織、関係者ら約五十名が参加。

講演では、松田綜合法律事務所弁護士の菅原清暉氏による「農作業リスクのための安全管理対策」と題した基調講演が行われました。過去の農作業死亡事故の発生状況から「乗用型トラクター」や「歩

行型トラクター」などの死亡事故に繋がる特徴を学び

ました。また、安全意識を高める農業機械の安全装備の認識、自己点検の重要性から、参加者は安全に農作業する大切さを改めて感じ、理解を深めていました。



基調講演の様子

秋の味覚 「さとやまマルシェ」

のと里山海道高松SA道の駅高松は十一月十四日、道の駅高松里山館イベント広場にて、秋の「さとやまマルシェ」を開催しました。

七月に引き続き、今年二回目の開催。イベントでは、かほく市特産品の「高松紋平柿」「かほつくり」「砂丘長いも」を各生産組合・部会がPRし安価で販売しました。また、「朝どれ野菜市」では小松菜や白ねぎなどを販売。地元野菜



「高松紋平柿」を買い求める来場者

が入った「小松菜マフィン」「ながいもチップス」などの加工品も店頭に並びました。開店前から長蛇の列ができ、旬の味覚を買い求めようと賑わいをみせていました。

かほく市特産品がズラリ 「秋のめぐみ大集合」

かほく市のイオンスタイルかほくは十一月十五日、イオンモールかほくアファコート特設会場にて「秋のめぐみ大集合」と題して、同市特産品や新鮮野菜の即売会を開催しました。同市と当JAも協力し初めての開催。

会場では、同市特産品ブランドの「高松紋平柿」「かほつくり」「砂丘長いも」のほか、新鮮野菜では「小松菜」「ブロッコリー」「白ねぎ



地元産の新鮮野菜を買い求める来場者

「白菜」など、地元産の秋のめぐみをPRしました。

来場者は「新鮮野菜が綺麗に並んでいて、色んな野菜を買い込んでしまった」と笑顔で話していました。

峠の駅「のでら」オープン

かほく市野寺で十一月十五日、峠の駅「のでら」の完成記念イベントが行われました。

イベントには地元産の「のでら米」や「野菜」、同市特産「高松紋平柿」などが販売されたほか、女性会による豚汁が振る舞われ賑わいを見せていました。また丸太や竹を切る体験や竹を燃料とした足湯のコーナーでは、親子で楽しむ様子が見られました。



賑わいをみせる峠の駅「のでら」

峠の駅「のでら」を管理する蔵谷清元さんは「今後も定期的に農産物の販売を行い、野寺の魅力を発信していきたい」と話しました。

かほく市 まなたび友の会 歩くつまみ食いウォーキング

宇ノ気支店は十一月五日、第十一回まなたび友の会「かほくつまみ食いウォーキング」を開催し、四十八名が参加しました。

今回は、かほく市外日角の創業カフェ前を出発し、地元のスイーツ店を巡りながら約三キロのコースを散策する企画。コースの途中では地元食材を使った甘いスイーツを味わうことができ、「にこにこおはぎ」ではきな粉と胡麻の二種類の味が楽しめるおはぎの食べ比べや、「高田製パン所」では人気の食パンを提供してくれるなど、各店自慢の逸品を美味しく頂きました。



試食のスイーツを味わう参加者（にこにこおはぎ前）

この日は秋晴れのいい天気となり、海の景色が綺麗に見え、清々しい風の中、ウォーキングを楽しみました。

松本裕美同支店長は「天気もよく気持ちのいいウォーキングとなった。協力頂いた皆さんのおかげで、楽しい時間を過ごすことができ良かった」と話しました。

協力店舗

- ・創業カフェ（マフィン）
- ・ヤクルトかほくサービス（ヤクルト）
- ・ハステイ（ワッフル）
- ・にこにこおはぎ（おはぎ）
- ・高田製パン所（食パン）
- ・はなのね（かきもち）

*ありがとうございました。



ウォーキングを楽しむ参加者

ほのぼの だより

2人は二輪草

今回は、私の大好きな内灘町在住の中林さんご夫妻を紹介いたします。奥様の恭子さんと出会ったのは今から五年前の夏、金沢医科大学病院の回復期病棟です。恭子さんは学校を卒業後、銀行にお勤めされ、まもなく運命の出会いから若くして夫の力さんに嫁ぎました。力さんの農業に夢を抱く姿に共感し、今までは一変した生活が始まりました。二人は文字通り夫唱婦隨の船出となり、ご実家の水田から始まり、まもなく内灘町湖西の酪農を始めることになりました。子供さんも三人授かり、あの頃を思い出すと無我夢中の生活だったと話されます。ところがその苦労からか、五十年代にて脳出血で倒れました。現在、恭子さんには軽いマヒは



中林さんご夫妻

残っていますが、リハビリ特化型デイサービスでリハビリを続け、高齢な他利用者から慕われ、「ひまわり」のような存在です。また初めてお会いした時、夫の力さんの「頼む、あいつにはたいそうばかりさせた、これから幸せにしてやりたい」と拳を握り締めて話した姿は忘れられません。私の役割はこうした家族の願いを受け止め、順調に回復され退院後の生活を応援させて頂くことです。中林さんご夫妻は、人生の次のステップを歩みながら二輪草のように笑って過ごされています。

介護支援専門員 北村 里美

(ケアマネジャー)



仲良し夫婦

津幡町 藤澤欽一さん・充子さん

私たち夫婦は原木を使った椎茸栽培を行い50年勤めてきました。これまで苦労など色々ありましたが、3人の子供と5人の孫達がいるなか、今年の3月で、結婚から60年目の「ダイヤモンド婚」を迎えることができました。

昔は、夫婦で海外旅行にもよく行き、アジアや欧州など巡りました。旅行先でみた風景や街並みなど、テレビに映ると、お互い「この場所二人で見たね」「色んな国を旅行できて良かったね」と話ながら懐かしさを感じています。

現在は、なかなか旅行には行けなくなってきたので、地域の麻雀大会や、川柳を詠むことが楽しみになっています。

外に出かける時も、二人揃って出掛けており、これからも夫婦仲良く助け合っていきたいです。

かほく じい〜ん

津幡町 西本 正和さん



椎茸となめこの原木栽培をして6年。近所の人から大木をもらって育て始めたのがきっかけです。たくさん収穫できるようになり、色んな人に食べてもらいた

いとこの思いから生産者直売所『そくさいかん』で販売することになりました。

椎茸の原木は主にコナラやクヌギ、なめこはハンノキを伐採して使っています。一本の木を切って作るため、太い幹から細い枝まで無駄なく利用します。

原木栽培は天候や気温に左右されやすく、雨が降った後に暖かい晴れた日が来ると、ものすごいスピードで生長するので、毎日かかさず確認しては、カサが開く前を見計らって収穫します。椎茸もなめこも肉厚で、たくさん収穫できると「今年も上手くできたな」という思いが込み上げ嬉しくなります。

これからも健康のためにも体を動かし、妻と協力しながら『そくさいかん』を通して美味しい食材を届けていきたいです。



ご飯をおいしく 食事を楽しく

「天晴」のオーナーシェフ 永井 智一 氏

栗とアサリのチーズリゾット



材 料

(1人分)

むきアサリ……………30g	チキンブイヨン 3/4カップ
ゆでた栗……………10粒	冷や飯……………100g
ニンニク(みじん切り)	白ワイン……………大さじ1
……………1/2片	パルメザンチーズ 大さじ2
オリーブ油	ミツバ……………適宜
……………大さじ1と1/2	塩・こしょう……………適宜

作り方

- ① フライパンにオリーブ油、アサリ、栗、ニンニクを入れ、弱火で炒める(ニンニクの香りを焦がさないように出す)。
- ② ①に白ワインを入れ、強火にしてチキンブイヨンを素早く入れる。
- ③ ブイヨンが沸いたらあくを取り除き、冷や飯を入れほぐしながら1分ほど煮る。
- ④ 仕上げに適当な大きさに切ったミツバ、パルメザンチーズを入れ、さっくりと混ぜ合わせ塩・こしょうで味を調え出来上がり。

栗けんちんの漬けそば



材 料

(4人分)

ささがきゴボウ… 1本分	〈漬け汁〉
ニンジン(細切り)	
……………1/2本	かつおだし… 5カップ
鶏もも肉(細切り)… 1枚	しょうゆ… 1/2カップ
むき栗……………20粒ほど	みりん……………1/2カップ
マイタケ……………1パック	料理酒……………1/4カップ
サラダ油……………大さじ2	いりごま……………適宜
	ミツバ……………適宜
	干しそば……………400g

作り方

- ① 鍋にサラダ油を熱し、ゴボウ、ニンジン、鶏もも肉、栗を炒める。
- ② ①に漬け汁用の材料とほぐしたマイタケを入れ沸騰させ、中火であくを取りながら20分ほど煮る。
- ③ 器にそれぞれ②を盛り付け、いりごまとミツバのをせ、ゆでて冷で締めたそばを添えて出来上がり。

料理レシピ 募集

ご家庭で簡単にできる、地物・旬の食材を使ったレシピを募集しています。投稿くださったレシピをリバノスやホームページで紹介したいと思いますので、皆様のご自慢料理を送ってくださいね！また、いろいろな食材の保存方法をご存知の方も、併せて募集しています。たくさんのレシピをお待ちしております。

募集方法 (封書でお送りください。)

1. 住所、氏名、電話番号
2. 料理名または食材名
3. レシピまたは保存方法 (簡単にお書きください。)
4. 一言コメント ※1～5の事項を必ずご記入ください。
5. 写真

宛先

〒929-0326
河北郡津幡町字清水子329
JA石川かほくりバノス編集部

※レシピが多い場合は、リバノス編集部で選定させていただきます。

令和3年度生産に向けて 肥料・農薬 自己取り実施

11月19日から21日の3日間、旧西部ライスセンターと配送センターで、予約注文した水稻肥料、園芸肥料、農薬の自己取りが行われました。3日間で約300人の生産者がトラックなどで引き取りに来てくださいました。

当JAは生産資材コストの低減として、自己取り拡大と予約配送センターの効率化による低価格供給に取り組んでいます。

当日は、当JA職員がトラックに積み込み、運搬時における事故の防止から、トラックの最大積載量を超えないよう確認しながら作業しました。

ご理解とご協力を頂きありがとうございました。



肥料を取りに来る生産者（旧西部ライスセンター）



積載量を確認しながら積み込む当JA職員（配送センター）

金沢税務署からのお知らせ

令和2年分 確定申告会場開設日

所得税等の確定申告会場の開設日は、

令和3年2月16日です。

令和2年分の確定申告は、
3密回避!!!

確定申告会場は大変混み合います。

スマホでサクッと!パソコンでポチッと!確定申告!

マイナンバーカードを使って送信

マイナンバーカードのほか、ICカードリーダーライター又はマイナンバーカード読取対応のスマートフォンが必要です。

ID・パスワードで送信

ID・パスワードは、申告されるご本人であればお近くの税務署窓口ですぐに発行できます。※顔写真付きの本人確認書類(運転免許証等)をお持ちください。

※感染症の感染防止の観点からも、ぜひご自宅からe-Tax申告をご利用ください。お早めの準備をお願いします。

JAグループ石川 担い手応援フェア2020 開催

JAグループ石川は11月28日、石川県産業展示館4号館にて「担い手応援フェア2020」を開催しました。県内の担い手農業者等を対象に、JAグループとの絆がさらに強まるような一体的なイベントとして実施されました。

会場は、ハイテク・スマート農機や人気の園芸品種、また省力・低コスト農業の紹介など農業新時代にふさわしい最新の技術が多数展示されていました。ステージセミナーでは国内と世界の食料需給状況の違いや、スマート農業に対する考え方で幅広いテーマの講演が行われました。

農業分野の技術確立が一段と進む今、JAグループ石川は農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた多角的な提案や、自己改革に基づく実践支援を強化していくことに努めていきます。



作業補助器具を試着する来場者

スマイルスクール

栽培した芋でこんにやく作り

8期生

女性大学スマイルスクール8期生の第19回講座が11月4日、かほく市のほのぼの健康館で開催され、受講生24名がこんにやく作りに挑戦しました。今回は新型コロナウイルス感染症対策として、午前と午後の二班に分かれて行いました。

材料のこんにやく芋は受講生が栽培した芋を使用。5月に種芋をプランターに植え付け、10月に収穫を行いました。

夏の低温の影響が心配されたものの順調に生長し、握りこぶしほどの大きさにまでなりました。

講師には石川県県央農林総合事務所の加茂川えりさんをお招きし、こんにやく作りのポイントとして、攪拌した芋を捏ねる時間や、こんにやくの硬さを左右する凝固剤の量の重要性など説明がありました。作業で



こんにやく芋の特徴を聞く受講生



捏ねる作業を楽しむ受講生

土や植物に触れ合う楽しさを感じて こけ玉づくり

9期生

10月28日、第8回講座「こけ玉づくり」が当JA本店にて開催され、女性大学スマイルスクール9期生21名が受講しました。

こけ玉とは、植物の根をケト土などの粘性のある土で球状に包み、そのまわりにコケを張り付け糸で固定した草玉です。お部屋のインテリアとして飾って楽しめます。

講師に白山市の宮子花園園主、宮子豊吉さんを迎え、こけ玉の作り方や管理方法の説明を聞きました。今回作るこけ玉は冬の寒さにも強いシクラメンと、ヘデラやオタフクナンテンなどの観葉植物の二種類。

受講生はまず赤、ピンク、白色など7色のシクラメンと4種類の観葉植物からお家に飾る光景を想像しながら一つずつ好き



こけ玉の形成の仕方を教わる受講生



ワイヤーでしっかり巻きつける受講生

な芋を切って、水の量をはかり、ミキサーにかけるなどたくさんの工程があったなか、皆で作業を分担しながら協力し合う場面が見られ、また体力と根気が必要な捏ねる作業では、グループで会話を楽しみながら励まし合ってこんにやくを作りました。手作りこんにやくの魅力や料理に合わせた楽しみ方を知った受講生は「帰ってから家族と一緒に食べるのが楽しみ」「青のりや唐辛子などオリジナルも作ってみたい」など話していました。

農作物の栽培から調理までの一連を体験し、収穫の喜びや日々の食事への感謝を改めて感じる講座となりました。

なものを選びました。出来栄を左右するこけ玉の形成作業では、丸々とした球になるよう、丁寧に丸みを調整。ワイヤーでコケを固定する作業では、巻き方が難しく苦戦する場面も見られましたが、受講生同士教え合いながらしっかりと巻き付け、可愛いこけ玉に仕上がりました。

受講生は「家に飾るのが楽しみ」「違う草花でも作ってみたい」と、冬場の寒い時期でも屋内でできるガーデニングの楽しみ方を学び、土や植物に触れ合う時間を楽しみました。



さあ作ろう！ 家庭菜園

森田 恵子

五年目に入りました。今年はどうなるのでしょうか。今年こそは立派な野菜をつくるぞと意気込みつつ、豊かな実りを願って我が家の作付け計画を作っています。昨年は秋野菜の失敗が多かったので、特に秋作に力点を置いて計画を練っています。

令和二年は、山の畑ではイノシシ、ハクビシン、タヌキやウサギの食害が多く発生し作れる野菜は限られてきました。もちろんネズミやモグラも常連さんですが、たまねぎを植えました。さといもやしょうがは獣も無視してくれるので植える予定です。じゃがいもは山の畑のほ味が良いので、ネズミには悩まされませんが植える予定です。もう今から獣対策のための息がです。

じゃがいもは、昨年マルチ栽培で成功したので、今年もマルチをします。無精な私にとって草取りが不要になるなら、多少の収量減は問題に

しません。また、収穫時のマルチを剥がす瞬間のドキドキ感がたまりません。残念ですが、マルチをしてもネズミの食害は防げませんでした。私は三品種ほどつくりませんが、ネズミが好まない品種はないのでしょうか。しかし、ネズミも食べないじゃがいもはおいしいのか？

トマトは、大玉とミニトマトを同じ畝で栽培したので、肥培管理がうまくいかず昨年は思わしい結果をだせませんでした。また、黄色のミニトマトの苗を買ったつもりで、肥料を多めに施用し脇芽を伸ばしてミニトマト用の整枝を行っていたところ、大玉の黄トマトが生りびっくりしました。今年は品種に応じた施肥管理がしやすいように、畝を別につくりたいと考えて場所選びをしています。

なすやピーマンの場所も決めなければなりません。栽培が十月まで続くので畑の中心では秋作の予定が立てにくくなります。もちろん、な

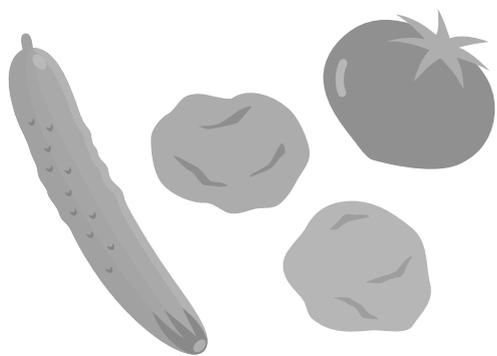
す科野菜の後地は避けて日当たりが良く、水はけが良く、できれば水やりが便利な場所を選びたいものです。昨年は長雨の時期に水はけが悪くなり一時的に生りが少なくなっていました。干ばつ時は水やりをすることができませんが、水はけが悪い畑には苦労します。

きゅうりは、五月の連休に植え付ける時は接ぎ木苗を利用しますが、その後は種をまき苗を育てて植え付けし連続収穫をねらいます。このため秋までの場所を決めておきます。昨年はお盆に残り種をまいて種代分のきゅうりを収穫することができました。品種を選べばもう少し多く採れたのではと考えています。品種選びも楽しいです。

すいかはイノシシやタヌキ、ハクビシンにねらわれるので、我が家はとつくに作ることを止めました。家のそばの菜園で作るトマトもハクビシンに食べられるので、目の届きやすい畑で作っても厳しいです。かぼちゃはまだ被害を受けていないので、今年も伯爵と甘龍の二種類植える予定です。秋までそのまま枝を伸ばすので隅に作付けます。

アブラナ科野菜は種類も多く小松菜のように周年栽培したり、キャベツなども春作、秋作と栽培するので根こぶ病対策を考えて、別の科目の野菜と輪作します。春にレタス、えだまめ、スイートコーンなどを作り、秋作にはくさい、キャベツ、かぶを作ります。えだまめは窒素肥料を少なめで育てますが、スイートコーンは肥料が大好きな作物なので畝が隣接するときは、通路を広く開けます。

主な野菜類の場所を決めたら、こたつに入って時間をかけて、その他諸々の野菜を空きスペースにはめ込んで圃場マップを作り、ついでに作業計画も立てます。さて、計画どおりにおいしい野菜が沢山収穫できるでしょうか。今年も五穀豊穣を神様に祈りましょ。



市と町の花を作ろう

土屋 照二

市町村の花があるところは多くあります。栽培容易な花なら栽培して、自分の住む地をアピールしてはどうでしょう。かほく市と津幡町の花はハマナスとツツジで、共に栽培しやすい花です。

◆ハマナス

ハマナス(図1)は北海道に多く見られますが、太平洋側では関東まで、日本海側では鳥取までの海岸地帯に自生しています。香り



図1

の強い桃色二重の花を咲かせますが、白花や八重花もあります。朱赤の扁平球状の果実は生食またはジャムとして利用できます。

強健で育てやすい花です。地際から走出枝を出して外側に多くの株を増やして群生します。場所によって株が広がりすぎて困るようなら、適宜外側の株を除きます。地植えでは水はけがよい日当たりの良い場所に、水はけが悪い場合は粒土や粗目の砂、腐葉土等を加

えて改良をします。鉢植えでは十号以上の鉢に赤玉土と鹿沼土の等量混合土に二割程度の腐葉土を混ぜて植えると良いでしょう。成育

が強く、走出枝が発生することから、一、二年ごとに鉢替えし、その際に無駄な根と走出枝を整理します。施肥は春の芽出し前と、秋に緩効性化成肥料を地植えで軽く二握り、鉢植えで一握りと与えます。繁殖は走出枝の株を分けるか、種子で行います。成熟果実から種子を取り出して良く洗い、そのまま平鉢等にまき(採りまき)、発芽まで乾燥させないように管理します。または採種、調製した種子を湿った水苔やピートモスとともにポリ袋に入れ冷蔵庫で保存し、春に改めてまき直します。

◆ツツジ

ツツジには多くの種類があります。津幡町の山部に自生しているのは花が緋赤色のヤマツツジ(図2)でしょうから、この種を栽培したいところ



図2

です。ヤマツツジは日本中に広く分布していますが、園芸的にはあまり利用されていず、園芸店で購入しづらい種類です。ツツジには常緑性と落葉性があり、前者大輪種には庭園樹としてよく使われるオオムラサキ、ヒラドツツジ(図3)等が、小輪種にはヤマツツジ、クルマツツジ(図4)、キリシマツツジ、サツキ(図5)等があります。後者にはレンゲツツジ、エクスバリアアザレア、ミツバツツジ等があります。常緑性種は挿し木も容易で栽培しやすく、刈り込みにも強いので扱い安いです。落葉性種は挿し木が難しく、根量も少なく移植が難しく、刈り込みに弱いので扱いづらくなります。ツツジは一般的に密生した繊毛根が乾燥に弱く、一方過湿で枯れることがあり、植え替え時に旧栽培土と新栽培土の



図5



図4



図3

◆ウシの着く花

今年は丑年です。ウシの着く花にイワタバコ科のウシノシタ(ストレプトカーパス・ウエンドランドイイ・図6)があります。この花は植物園でしか会うことはないでしょう。同属の園芸文種(図7)は春以降に店頭に並びます。



図6



図7

根元を湿りすぎないようにし、時々施肥すれば長い間咲き続けます。寒さに弱いので冬は室内で管理します。葉挿しが容易なことで知られ、苗が簡単に増やせます。

お便り OTAYORI コーナー

「入浴で体を癒やす」を読ませて頂きました。納得です。もうこの時期、シャワーをやめて、お湯につかって癒されています。津幡町 坂井 外美枝

温かいお湯にゆったり浸かることで冬の寒さをより癒やしてくれますよね。冬至に柚子風呂とも言われますので、柚子の香りを感じながらリラックスするなど、心も体もポカポカと温め、風邪をひかずに寒い冬を乗り越えていきましょう。

プランター菜園も終わり、つるなしのエンドウ豆を植えようと思います。今年は朝顔が良く咲き、子供みたいに朝咲いた花

を数えるのがとても楽しみでした。

かほく市 沢野 婦美子

たくさん花が咲いてくれると愛着が湧いて嬉しくなりますよね。朝顔の花のようにつるなしのエンドウ豆も綺麗な実をつけてくれるといいですね。

健康百科や家庭菜園も楽しく読ませて頂いています。秋はやはり、栗ですね。おいしい栗ご飯を作りましょう。

《栗の皮むきについて》

包丁を持つ手の反対の手（親指）にキズバンを貼ってから栗の皮むきをしましょう。指を切る事もなく、楽しく、皮をむく事ができます。

かほく市 田中 禮子

安全な栗の皮むきについてのアドバイス、ありがとうございます。これからの時期、おせち料理の栗きんとんや栗入りぜんざいなど、栗の美味しさが広がりますね。今月号の「ご飯をおいしく食事を楽しむ」のコーナーでも栗を使ったレシピを紹介していますので是非、ご参考に試してみてください。

いつも「さあ作ろう！家庭菜園」を読み、狭い畑ですが参考にして楽しんでいます。それに応えて良いものが出来たら「ありがとうね」と言葉を掛けています。

かほく市 匿名希望：ラベンダー

ご愛読ありがとうございます。種や苗を植えるときのワクワク感、日に日に育っていき、やがて実がなり収穫するときの達成感から、野菜を育てる楽しさに繋がりますよね。これからも美味しい野菜作り頑張ってください。



その他、たくさんのお便りが届いています。紙面の都合上、全員の方のお便りを載せることができない場合がございます。ご了承下さい。実名で載せさせていただいておりますが、匿名希望の方は明記してください。お便りをお待ちしております。

＜お便りのあて先＞
〒929-0326 河北郡津幡町字清水チ329
JA石川かほくりパノス編集局



石本よし一選

題「朝」

● 秀

朝食はパン派お米派三世代

川端 春美(狩鹿野)

評 三世代が同居する家庭は、最近ではめずらしいことです。食糧難を経験したお年寄りとは、飽食の時代に生を受けた若者とは、食生活にも大きな違いがあることでしょう。朝食はパンと牛乳の世代、どうしてもご飯をいただかないと、腹が淋しいという世代、三世代はとくにぎやかなことでしょうか。パン派とお米派と仲良く暮らすことができれば、すばらしいことです。

● 佳作

朝刊にコロナの次は熊の文字

吉田 順子(川尻)

朝ドラを見てからドッコイ腰を上げ

古林 照子(長柄町)

あと五分ふとん恋しい雨の朝

宮本由紀子(宮坂)

床の中朝のおかずを考える

越野 香(二ツ屋)

朝市に客呼ぶ海女の口達者

前山優美子(太田)

● 入選

朝ごはん卵かけして舌鼓

松本 義隆(岩崎)

寝過ぎして朝食抜きで社へ走る

村田 由枝(竹橋)

朝帰り抜き足さし足忍び足

専能 専父(能瀬)

朝夕に念仏申す祖母が好き

山崎 洋子(横浜)

おはようとおく眠れたか機嫌いい

藤沢 充子(瓜生)

茶柱が立った喜び朝ご飯

井田 宏子(井野河内)

朝一に神仏さまにご挨拶

長谷川恵子(市谷)

熊が増え朝の散歩も出来ぬ秋

福田 貞子(岩崎)

朝の畑コロナ気にせず深呼吸

加藤 秀子(五反田)

日差しよけ朝顔かきね涼しげに

田村 悦子(大根布)

朝一に鏡の前で顔チエック

松田 彩加(金沢)

子供等と朝の挨拶マスク越し

田中 介之(上田名)

快適な朝の目覚めに四肢伸ばす

洲崎 昭子(太田)

朝換気コロナ用心怠らさず

一羽トモ子(南中条)

朝やけの予感あたり種を蒔く

松田 妙子(浅田)

炊きたてのご飯おかわり旅の朝

兼保 直美(湯端)

朝ドラにエールをもらい前向きに

永下 茂和(坂戸)

通勤のマスクファッション今朝はブルー

河合 雅子(津幡)

三月号題 「新」三句マテ

● 締切り 一月十日必着

四月号題 「聞」三句マテ

● 締切り 一月十日必着

▲ 投句先▼

〒929-0326 河北郡津幡町字香提寺ワ三

石本よし一宛

※投句の際、住所・氏名をお書き忘れのないようお願い致します。

寒い季節の農作業で注意したい脳出血

健康科学アドバイザー 福田 千晶

寒さが誘引する病気の一つに脳出血があります。動脈硬化や加齢で傷んだ脳の血管に急に大きな圧力がかかると、脳の血管が破れて脳出血になります。

脳出血は、ほとんど前兆がなく発症し死に至ることもあります。命が助かって後遺障害が一生残る場合も多いのです。手足が自由に動かせなくなるまひ、言葉や視界の障害、記憶力や集中力の低下などさまざまな障害が残る可能性があります。場合によっては介護が必要になることもあります。

前日より気温が一気に下がった朝や温度差が大きい日に血圧は上がりがちです。血圧が高いのに、生活改善や必要な治療を行わず放置していると、脳出血を起こしやすくなりとても危険です。

日頃から塩分の取り過ぎ、多過ぎる飲酒量、喫煙、ストレスなどの生活習慣は、高血圧につながります。思い当たる人は、高血圧予防のために生活習慣の見直しも大切です。

コロナ禍で「医療機関には新型コロナウイルス感染者がいて恐い

から、行かない方がよい」と、定期的な通院を中止し、病気の治療が中断したままの人もいます。脳出血の予防には、まず、高血圧の人は適切な治療が必要です。今まで控えていた人も、通院を再開しましょう。血圧がやや高めになってきた人も、食生活や運動、睡眠など生活を見直してみてください。

農作業はトラクターで生活は自家用車、そんな運動不足の人はウォーキングなどの運動を継続しましょう。食生活は栄養バランスを考え、塩分控えめにして薄味に慣れましょう。冬になって寒い日に農作業をするときは、時間をかけて寒さに慣れてから作業を始めます。急に寒い場所に出たり、グツと腕に力を入れると血圧が上がります。毎日血圧を測定し、高い日や気分が悪い日は農作業を休む勇気も大事です。



新着情報

ほのぼののデイサービス

消防訓練を実施

ほのぼののデイサービスは11月11日、秋の火災予防運動に合わせて消防訓練を実施しました。

当施設での消防訓練は、利用者さんの安全とスタッフの意識向上のために毎年2回行っていましたが、今年は8月に予定していた消防訓練は新型コロナウイルス感染症の影響で延期となり、県内の感染状況を鑑みて、今回は十分な感染予防対策をとったかたちで行いました。

訓練は、北陸総合防災センター立ち会いのもと、厨房からの出火を想定して行われ、火災を知らせる119番通報から、火災報知器の作動、初期消火、非常口にスロープを掛けてスタッフが利用者さんを誘導し駐車場に避難する一連の動作を訓練しました。

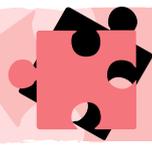
また、避難後は駐車場で無事に全員が避難した安全確認とケガ人の確認を行い、隊長（施設長）に報告しました。



スロープを使って避難する様子

北陸総合防災センターの方から「これから寒くなり空気が乾燥し火災が発生しやすくなります。火の元には十分注意し、万が一のときはご自身の安全を第一に考えて行動してください」と注意事項を頂き、緊急時に適切な対応が出来る体制を再確認しました。

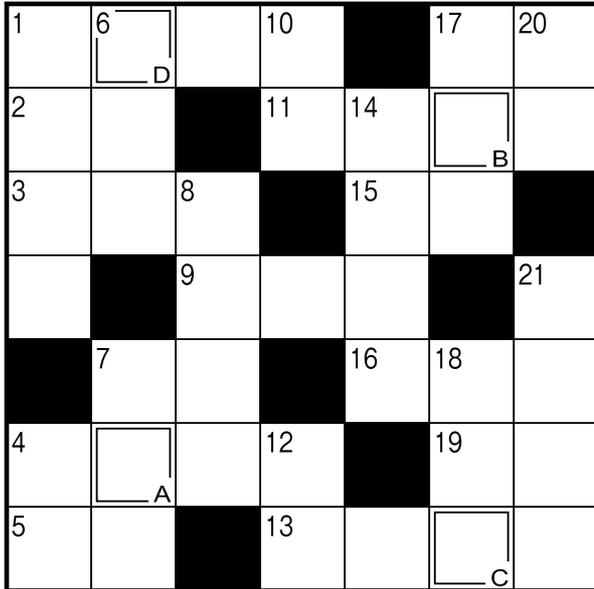
ほのぼののデイサービス 施設長 津田 明彦



クロスワード クイズ 頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか?



→ ヨコのカギ

- 1 一富士二タカ三ナスビは、何
に見ると縁起の良いもの?
- 2 キャンパスの大きさを表す
ときに使う言葉
- 3 港を表す地図記号はこの形
- 4 強烈な悪臭がする液をお尻か
ら噴射して身を守る動物
- 5 1/100はセンチ、1/1000は
- 7 なぜか猫が入りたがる物
- 9 大豆や緑豆の種子を暗い所で
発芽させた物
- 11 物事をするのにちょうど良い
頃合い
- 13 おせち料理に入れる煮豆
- 15 鶴は千年、——は万年
- 16 ご飯のこと。カレー——
- 17 ぬいぐるみに詰めます
- 19 ピーヒョロロと鳴く大きな鳥

↓ タテのカギ

- 1 羽根突きに使う道具
- 4 すずりですります
- 6 止まらず次に進むこと
- 7 重さを知りたいときに使いま
す
- 8 テレビやエアコンに向けてポ
タンを押します
- 10 ご飯のこと。焼き——
- 12 いんいちがいち、いんにがに
……
- 14 ——付きのタイで成人を祝っ
た
- 17 車が動きださないようにタイ
ヤにかませます
- 18 同種の事例は枚挙に——がな
い
- 20 凍った場合は氷瀑(ばく)と
呼ばれます
- 21 ひもの——が固くてほげな
いよ

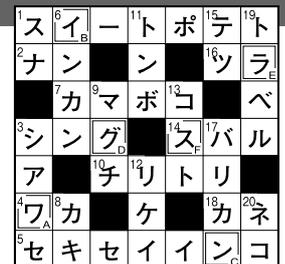
PRESENT

- ◆応募方法 ハガキに①答え②住所・氏名・電話番号③本誌に対する
ご意見・身近な役立つ情報などをご記入の上、下記あて
先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方
に1,000円分の商品券をプレゼントします。
- ◆あて先 〒929-0326 津幡町字清水チ329
JA石川かほく「リバノス編集部」
- ◆応募締切 1月10日(消印有効) ◆当選発表 リバノス3月号

11月号クイズ当選者

〈答え〉 ワイングラス

- 中村 清江 さん
- 松村小夜子 さん
- 松井 春美 さん
- 森田 年子 さん
- 白江 悦子 さん



第8回 理事会だより

令和2年11月27日(金)開催

●審議事項

- 第1号議案 令和2年度石川県随時・常例検査結果に対す
る回答書について
- 第2号議案 個人情報取扱規程(別表)の改正について
- 第3号議案 育児休業に関する規程、介護休業に関する規
程の改正について
- 第4号議案 令和2年産大豆仮渡金について
- 第5号議案 理事と組合との契約承認(業務委託取引)に
ついて

●報告検討事項

- (1) 令和2年10月末事業概況について
- (2) 令和2年度内部監査品質評価結果の報告について
- (3) 理事と組合との契約締結報告について
- (4) 半期情報の開示(ディスクロージャー)について
- (5) 令和2年度固定資産処分の報告について
- (6) 令和2年産米集荷実績について
- (7) 下期賞与支給について
- (8) 年末年始業務予定について
- (9) その他

支店活性化委員から、こんにちは!

コロナに負けるな! 元気な宇ノ気支店を目指して!!

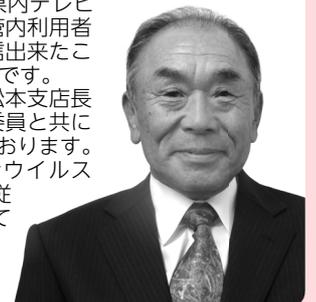
宇ノ気支店活性化委員の喜多宗勝です。
今年度は、春先から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、
当支店としても当初計画していたイベントの中止や、規模の縮
小を余儀なくされました。

唯一、8月14日に開催しました恒例の「夏まつり」では、
十分な感染予防対策を行ったうえで地元新鮮野菜や焼きそばな
どを販売し、利用者から「新鮮野菜市を待っていたよ」「久しぶ
り」など、地域住民の方々の元気な会話が所々から聞こえ、
多くの利用者に喜んで頂けたと思います。また、当日は「JA
探訪 地域に笑顔を!」という県内テレビ
局の取材も行われ、石川県民・管内利用者
に向け、元気な宇ノ気支店を発信出来たこ
とが委員としてとても嬉しかったです。

今後のイベントに関しても、松本支店長
を中心に、支店職員・他活性化委員と共に
皆様のご来店を心よりお待ちしております。

最後に、1日も早い新型コロナウイルス
感染症の終息を願うとともに、従
来の生活に早く戻るよう願って
おります。

宇ノ気支店活性化委員 喜多 宗勝



生産者直売所 そくさいかん JAグリーンかほく

開催
日時

令和3年

1月9日(土) 10日(日)

新春フェア

今年もよろしくお願ひ致します

そくさいかん女性部

惣菜
販売めった汁
販売10日
のみ※なくなり次第
終了します野菜
特売

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催の中止、またはイベント内容を変更する場合がございますので、予めご了承下さい。

『JA-POP甲子園 2020』 ラウンドアップ部門 簡易陳列 特別賞 受賞

J A購買店舗での農薬陳列・POP広告を競い合う『JA-POP甲子園2020』が開催され、JAグリーンかほくが「ラウンドアップ部門簡易陳列」で特別賞を受賞しました。この大会は、購買店舗の活性化、組合員・利用者へのサービスの提供と満足度向上を図ることを目的に平成14年から開催されています。今年度は135JA、446店舗が参加し、初めての受賞となりました。

おめでとうございます!



特別賞を受賞したJAグリーンかほく



入り口に設置された商品ディスプレイ

令和2年～令和3年

年末年始 営業時間のご案内

■年末年始営業時間のご案内

年/月	日	曜日	本店・支店	給油所			自動車センター	農機センター 配送センター LPガスセンター	JAグリーン かほく
				俱利伽羅SS	津幡セルフSS	宇ノ気SS			
令和2年 12月	26	土	休業	8:30～ 17:30	7:00～ 22:00	7:30～ 19:30	8:30～17:30	休業	8:30～18:30
	27	日		休業		8:00～ 18:00			
	28	月	8:30～17:30	8:30～ 17:30		7:30～ 19:30	8:30～17:30	8:30～17:30	
	29	火							
	30	水							
	31	木	休業	休業		7:30～ 18:00	休業	休業	
令和3年 1月	1	金	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	2	土			8:00～ 19:00				
	3	日							
	4	月	8:30～17:30	8:30～ 17:30	7:00～ 22:00	7:30～ 19:30	8:30～17:30	8:30～17:30	休業
	5	火							
	6	水							
	7	木							
	8	金							
							8:30～18:30		

■年末年始ATM営業のご案内

通常通り営業いたします。

■その他サービス

JAネットバンク サービス	個人ネットバンク	令和3年1月1日～3日のパソコン、携帯電話、スマートフォン等を利用したサービスは、8:00～19:00までとなります。
	法人ネットバンク	令和3年1月1日～3日まで休止となります。

※個人ネットバンクは、お取引内容によってお取扱い時間が異なります。